

日本材料学会 理事会企画報告

「高速道路施設を守る点検・診断・モニタリング技術の最前線」

企画者：庶務理事 鎌田敏郎

主催：日本材料学会

共催：大阪構造物非破壊診断交流会、大阪大学工学研究科社会基盤設計学領域

開催日： 2016年4月13日（水）14:00～17:00

会場： 大阪大学中之島センター 301会議室

出席者： 40名

概要：

本企画は、鎌田（大阪大学）の司会によって進行され、まず、開会挨拶、主旨説明が行われた。その後、宮田弘和氏（西日本高速道路㈱）による「電磁パルス法によるあと施工アンカーボルト固着部の非破壊評価」、小泉圭吾氏（大阪大学）による「IoT-WSNによる土構造物の健全度診断」、服部晋一氏（大阪大学）による「衝撃による弾性波の特性に着目したPCグラウト充填状況の非破壊評価」の順で講演が行われた。いずれの講演もそれぞれの分野の最先端の研究であり、多くの方々が熱心に聴講され、また活発な質疑が行われた。最後に、葛目和宏氏（大阪構造物非破壊診断交流会幹事、㈱国際建設技術研究所）より閉会挨拶が述べられ、盛会のうちに閉会した。



会場風景（1）



会場風景（2）



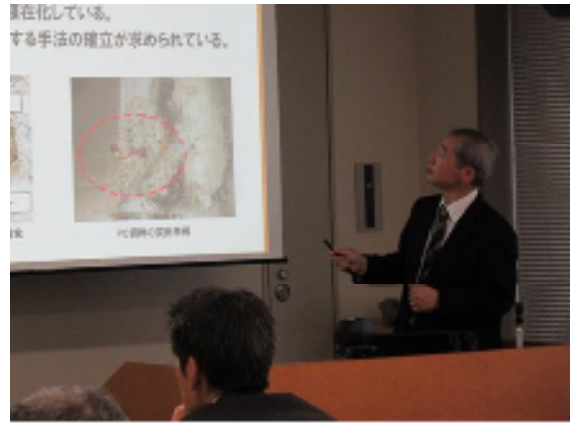
開会挨拶（鎌田敏郎）



講演1（宮田弘和氏）



講演 2 (小泉圭吾氏)



講演 3 (服部晋一氏)



閉会挨拶 (葛目和宏氏)